

2026年2月19日

苫小牧市

市長 金澤 俊 様

連合北海道苫小牧地区連合

会長 南部谷 康史

全日本港湾運輸労働組合同盟北海道地方本部

議長 服部 千年

苫小牧港の利用率向上と港湾労働者の労働環境改善についての要望書

貴職におかれましては、日頃より苫小牧地域産業の発展にご奮闘されていることに対し心より敬意を表します。

さて、苫小牧港は「北海道の玄関口」として、道内の約8割の貨物を取り扱い、北海道で有数の物流拠点として道内の流通を支える重要な港であり、日本を代表する港として日本経済を支えてきました。私たち港湾労働者もその使命感を持ち日夜、勤務しています。

しかし、長引く物価上昇が、組合員の生活を厳しくし、春闘による賃上げの効果もなかなか感じる事ができない状況となり、その影響は各社の経営にも影響し、慢性的な人員不足と荷役作業料が適正価格になっていない事が重なり、特に苫小牧国際コンテナターミナルの業務・運用に大きく支障がでてきております。その中でも人員不足の影響は非常に大きくもともと、港の気候、夜間作業など、働くだけでも厳しい環境であるにもかかわらず、人員不足により港湾労働者1人あたりの負担が大きくなっているのが実状です。

これらの課題解決のためには、国や道、地方自治体との連携が重要となります。苫小牧市におかれましては、国や道への働きかけのほか、積極的な苫小牧港の活用促進策の推進、港湾労働者の労働環境改善について、お力添えいただきますようお願い申し上げます。

記

- (1) 苫小牧港の貨物の取扱量は減少傾向にあります。それにより、各社とも厳しい経営状況を強いられています。苫小牧港がより活用されるよう、全国へのトップセールス、港湾のインフラ整備、各岸壁および荷捌き地や倉庫等にて総合的に荷役作業を効率よく行える環境の整備などを実施し、取扱量が向上する対策を行うこと。

- (2) 通常でも厳しい環境にある港湾荷役の業務について、全国の港湾労働者の不足が深刻化しています。苫小牧港も同様であり、正常な運営に大きな影響を及ぼしています。荷役作業員、トラック等のドライバーが、ともに不足しているのが状況です。苫小牧市として、苫小牧港の安全な運用を守るため、港湾労働者を確保するための対策、労働環境を整備するための各関連会社に対する支援策、DX化への補助等の実施を行うこと。

- (3) 苫小牧国際コンテナターミナルの安定的かつ持続的な運営を図るため、管理者である苫小牧市においては、運営に対する主体的な関与を一層強化するとともに、必要となる経費について、財政的支援を含めた十分な措置を講じること。

以上